

大阪商業大学大学院
地域政策学研究科 地域経済政策専攻

入学試験問題(一般・社会人)

【博士後期課程】

平成 27 年度 小論文・外国語(英語)

小論文問題

次の①～③の問題の内、1つだけ選択して解答用紙に記入してください。解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入してください。

- ① 現在、世界的規模で異常気象が続き、地球環境の悪化が懸念されます。この問題が地域経済に及ぼす影響について、具体例をあげて述べてください。
- ② 「チューリップ恐慌からインターネット投機へ」、そして記憶に新しいリーマン・ショック。バブルが幾重にも起きて来たが、いま、世界中でまたいくつも進行中である。副題を付け、バブルについて自由に論述してください。
- ③ 近年、「グローバリズム」という言葉が頻繁に使われるようになりました。経済学において、「グローバリズム」とはどのような考え方を意味するものかについて、①具体的な事例をあげて説明しなさい、さらに、②それについてあなたの意見を述べなさい。

【答案作成上の注意】

- 1.問題②を選択した場合、文章の最初に、解答の内容にふさわしい副題をつけてください。

外国語（英語）問題

次の英文を全文、日本語に訳しなさい。

There is wide ranging international evidence showing that ownership and control within producer services are increasingly concentrated in large enterprises, which are in turn increasingly transnational as a result of M&As. But concentration has been accompanied by an increasing division of labor within firms (technical specialization) as well as among firms. There is growing complexity and increase in the division between internally produced and externally bought specialized functions. As a result, alongside the larger firms and their growth there is also a large world of small highly specialized supplier firms in the service sector. Concentration here is, then, not in the form of vertical integration but, rather, of complex networks of suppliers and contractors. The focus shifts to market segments rather than products. Externalization and internalization do not necessarily represent distinct long-term organizational trends, with one replacing the other; they can coexist (O'Farrell et al. 1992; 1993). Some firms also decide to re-internalize specific functions, as externalization may weaken control over possibly sensitive information. Decisions to externalize the production of producer services deepen the social division of labor and underlie the massive growth of the sector since the 1980s.

(出所) Saskia Sassen (2001) *The Global City*. 2nd Edition,
Princeton University Press.

平成27年度

【入試問題の出題の意図と採点基準】

博士後期課程（一般・社会人 入学試験）小論文

◆出題全体の意図

地域政策学あるいは地域経済政策の領域で博士論文を作成するにあたり、学部及び修士課程もしくは博士前期課程で学んだ専門知識の理解とそれぞれの専門領域において培った物事を見る視点及び時事問題への関心と共に論理的な文章作成能力を評価するため、ここでは、3つのテーマについて出題し、1問選択とした。

◆採点基準

問題文の主旨の理解と解答に際しての論理構成といった文章読解能力と文章作成能力を採点基準に入れている。もちろん、それぞれ学んできた専門領域における学部及び修士課程もしくは博士前期課程での専門知識の習得状況や時事問題への関心の深さや物事を見る視点及び価値判断といった採点項目を考慮に入れている。

博士後期課程（一般入学試験）外国語（英語）

◆出題の意図

専門的な英文を正確に読解する力を問うものである。本学では地域政策学を主要な研究分野としているため、本年度は、グローバル化の進展に伴うサービス分野（特に生産者向けサービス）の企業構造や分業の変化について出題した。

◆採点基準

- ① 英文の基本的な主張を正しく捉え、自然で分かりやすい日本語に訳せていることを、合格の基本的な基準とした。
- ② そのうえで、文脈に即して専門用語を適切に使用している場合は、加点の対象とした。